キャラクター名: リリウム・イペリコム・トリフォリウム

プレイヤー名:

種族	バジリスク	種族特徴	邪視と瞳石、猛毒の血液、魔物化、弱点(水氷+3)		
生まれ	部位操者	性別	女	年齢	17
冒険者Lv	11	経歴	同胞に家族を傷つけられた		
経験点	3210		人肉が食べられない		
			同胞を傷つけてしまったことがある		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	8	器用度	11	3	-4	18	3
		敏捷度	2	7		17	2
体	11	筋力	6	3	-4	16	2
		生命力	8	5		24	4
心	14	知力	5	12		31	5
		精神力	6	18	20	58	9

技能	Lv.	技能	Lv.
ソーサラー	9		
コンジャラー	11		
レンジャー	6		
フィジカルマスター	11		
アリストクラシー	5		

戦闘特技

ルーンマスター	IB34 p	スローイング	IB30 p
治癒適性	2122 p	防具習熟A/非金属鎧	1-282p
魔法誘導	223 p	防具習熟S/非金属鎧	1-282p
魔法収束	227 p	魔法拡大/すべて	1-290p
魔法制御	222 p	足さばき	2-227p
魔法拡大/数	IB39 p	ダブルキャスト	2-234p
武器習熟A/スタッフ	IB31 p	武器の達人	3-212p
	p		p
武器習熟S/スタッフ	1-281p		p
魔力強化	IB32 p		p
クリティカルキャスト	2-233p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドレイク語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔法文明語	○	○
妖魔語	○	
バジリスク語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術

ビートルスキン	
幸運は勝ち戦を授ける	
心震わせる美声	
華麗なる言の葉	
気高き振る舞い	
麗しき歌声	
心震わせる美声 II	

名誉アイテム	点数
退かぬ、媚びぬ、省みぬ	50
茜百合	15
土の衛士	100
イグニスの魔符	100
工作部隊	30
図書館探検隊	20
目ざとい	10
	10
シアンナと友人	100
マムラカ特別職員	100

名誉点 所持 1278 /合計 1803

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	コンバットメイドスーツ		10	1	0
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					3
回避技能			合計値	1	5

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ブラックロッド				2d+ 0		3											
ソーサラ―スタッフ				2d+ 0		3											
				2d+													

一般装備品 (消耗チェック)

バルバロス携行品セット	○□□○□□
マナチャージクリスタル	○□□○□□
食糧x2	○□□○□□
インドミタブルポーションx5	○□□○□□
魔香草x50	○□□○□□
薬師セット	○□□○□□

知力の魔紋	○□□○□□
魔晶石5点x20	○□□○□□
シルヴィア	○□□○□□
ヒビカゼ	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 180296 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
10 m	17 m	51 m

回避	防護点
2d+ 1	5

HP
57

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/×	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 18	2d+ 25

MP
118

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	9	22			
操霊魔法	11	24			
深智魔法	9	24			

装備品		説明
頭	聖王の冠	
耳	勇者の証(心)	
顔	女神のベール	
首		
背中	セービングマント	
右手	手品師の手袋	
腰		
足		
その他		

装備品		説明
左手	手品師の手袋	

その他メモ

ディルフラム西部、七席議会領出身のバジリスク。繊細で純真、刹那的に享楽を得たがる性格の持ち主。貴族の生まれとして自由に、周囲から愛され育った。社交界でも人気で、茜百合と呼ばれもてはやされていた。そんなある時、彼女は一人の少年に花束を贈られ恋に落ちる。相手は人族であり、更には奴隷の身分であった。両親は一時のこととして特段咎めず、二人は穏やかに、慎ましく過ごしていた。
しかし、それも長くは続かなかった。リリウムに思いを寄せていたバジリスクが、彼女が奴隷と恋仲であることを知り激怒したのだ。怒れる男はトリフォリウムの家を配下を用いて襲い、リリウムを奪おうとした。その中で、両親は傷を負い、恋仲であった少年も大怪我を負う。その光景に我を忘れたリリウムは魔物化し、襲撃者たちを食らいつくした。そして、我に返った彼女の目に映ったのは、怯えた視線を向ける恋人の姿であった。半狂乱になった彼女は家を飛び出し、遠く遠くへと去って行った。
このことは彼女の心に大きく傷を残し、人の顔色を窺う癖がついた。あまりにも悲しいその記憶は、防衛本能から急速に薄れている。いまや彼女は恋人の名前すら思い出せないだろう

茜玉の邪視(カーネリアン)

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟